

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	現在の勤務体制として18:00より二人体制となり夕食時や夕食後のケアなどで玄関、バルコニーの施錠を18:00から7:00まで行っている。又近隣の方に対しては、散歩や活動の時にグループホームの利用者様のことは、理解されているが、地域住民の方の理解度に関しては課題は残っている。	夏場の時間帯を考慮しながら、玄関、バルコニーの施錠の時間を20:00から7:00までと変更する。又地域住民への理解度に関しては、家族様と十分連携を取りながら利用者様が地域の方に理解していただくように交流を多くする。	施錠の時間の変更においては、遅出の勤務者が帰り夜勤者が一人になる前に必ず、利用者様の所在確認の徹底をする。又地域住民との交流に関しては、地域に対しての出前講座などを実施しながら認知症に対する対応等の説明をしたりパンフレットなどの配布をしていく。	1年間
2	10	苦情箱や相談窓口などを設置しているが、利用状況は少ない。又運営推進会議に於いても運営に反映するような家族様の意見は少ない状況である。	苦情解決委員会を立ち上げて家族様などの意見を拾い上げ解決するように検討し上申し運営に反映する。又組織的な「家族会」の設置ではなく、家族様・利用者様の意見や要望が言える参加型の「家族会」を検討して意見が運営に反映するようにする。	毎月委員会の会議を行い挙げた意見の検討をする。又隔月の運営推進会議の資料やグループホーム便りや担当職員からの便りなどを家族様へ送付する。又毎月のケア記録の内容も家族様の面会時に目を通して頂きサインを頂くようにする。	1年間
3	35	利用者様の安全確保の為の訓練は実施しているが、利用者様の理解度や夜間帯の一人勤務体制など不安や課題が山積みである。	地域住民との火災避難訓練の実施と運営推進会議メンバーに消防団員の参加をお願いする。	年間の消防避難訓練の計画書に、地元住民との合同訓練を計画して、地域住民と職員、利用者様に消防署より指導していただく。又近隣の方へ、緊急連絡網の連絡体制の一員となって頂く。	1年間
4	40	食事の食材の買出しや野菜の手入れなどをしながら、毎日の食事や行事食など楽しんでおられるが、少人数で夕食を楽しめるように計画したが実施出来ていない、どうか実施したい。	嗜好調査をして麺類の方や定食の方等思い出に残る夕食を実施する。	仲良しさん達や嗜好などを考慮して、近くの食堂やファミリーレストランなどに無理がないように昼食として出かける。	1年間
5	12	重度化や終末期のケアに関しては、母体の特養での経験を活かして取り組んでいるが、医療面でかかりつけ医と連携を組む時、不安や無理な面があり、つい母体に頼ってしまう。	家族様と十分話し合い、出来るだけ家族様の意向に沿うように、地域医療連携が出来るように取り組んでいきたい。	地域医療連携のシステムを十分に理解して、母体の協力をお願いしながら、終末期の支援が安心してできる職員体制を上申する。	1年間

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。